

1 学年だより

令和3年11月5日(金)

夢の宅配便

 1 年学年主任
水野 喜代治

「平和集会」

私は、城山中学校のさまざまな活動の中でも、平和集会は特に素晴らしいと思っています。日本中にたくさんの中学校がありますが、生徒が主体的に「平和を考えて、平和を願う。」という集会を行っている学校は、他にはないのではと思います。

平成28年に、生徒会が広島県からいただいた「アオギリ」を中庭の花壇に移植しました。この「アオギリ」は、1945年8月6日に投下された原子爆弾の惨事で、焼け焦げても奇跡的に芽を出しました。広島の人々は、アオギリの生きる生命力に感動し、広島の復興のシンボルとしてこの「アオギリ」の木を大事にしてきました。そのアオギリを増やして平和のシンボルとして多くの人や団体や国に配っています。城山中学校も1本の苗木をいただいて、平和の願いを込めて、全校生徒で集会を開いて中庭に移植しました。その時に、全校生徒と全職員で平和を願うメッセージを書いて、アオギリの移植の時に中庭にタイムカプセルにして埋めました。このタイムカプセルは、日本が再び誤って戦争への道に進む時が来たときに、掘り返してそのメッセージを公表することに決めました。

時が流れる中で、やがて「アオギリ」を植えたことも、タイムカプセルのことも忘れてしまうかもしれません。そうならないように、毎年、平和集会を開いて、戦争の悲惨さや平和への願いを確認しようということになりました。集会で、「アオギリ」の話も伝えていこうということになりました。

アオギリの植樹から6年が過ぎようとしています。今日は、全校生徒で平和集会が行われました。3年生が中心となって、戦争の悲惨さを訴えていました。昨日は、この集会を前に生徒会本部役員の駒さん、朝倉さんが帰りの会にリモートで1年生の各クラスに「平和集会」にむけて、「アオギリ」の話を伝えていました。



(中庭のアオギリ)

平和集会を続けて、平和を考える取り組みを受け継いでいる生徒会と、その活動をしっかり見守っている城山中学校の先生方のそれぞれの思いが素晴らしいと思います。いつまでも、平和集会が受け継がれることを願っています。受け継がれること自体が平和そのものであると思うから。